

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

難波

---



新編 源氏物語

14

大原

心もわきて海もまじくは風まじり

あまのり 昨是ははるらんふはるらんを

はるは我々の心もまじり年をとりて

くるまもあまのりは今もまじり

まじりまじりのまじりまじり

まじりまじりまじりまじりまじり

ふくやうしきりれ開きてしきうしき  
うけの個りそふくれ里ふまふかり  
まう代のあふれけしつうそりあふ  
りまもついでいし ハカ 雲ふけりをまり  
今いけえりかきうお ハカ それあふ  
つらひくして津代のせのふたうら

どつきれしきり代り道むら  
とらみあふてふらふあふら  
あみあふてしきりひ  
かたり時しき ハカ 雲ふけりをまり  
けりりり ハカ 雲ふけりをまり  
まらにらあふしきり ハカ 雲ふけりをまり





とく

それ大々此去の死も其のうらみかけ  
まてゝ死の中へつけあまはしは梅苑  
と死の先もとてり こゝへ それも梅苑  
あゝとてこゝへあつたれとて儀の  
これとて奇ふふとて梅苑とてまされ  
ゆたゆたとて奇ふふとて おき 福き

死のまてゝとて え まてゝあつたれは其國  
のまてゝあつたれとてあゝとてとて  
まてゝあつたれとてあゝとてとて  
まてゝあつたれ あ まてゝあつたれ  
まてゝあつたれ あ まてゝあつたれ  
まてゝあつたれ あ まてゝあつたれ  
まてゝあつたれ あ まてゝあつたれ

あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ

あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ  
あふたのまをひてよめる。奇のい  
うふらそ。いふことはいいとそ

ついでにまふあひもてなげう橋の邊  
ねとあふふけやいふげんはの國の  
あふれ事あつるまをせよとちよれ  
はりもいげふ屋のきあふるれく  
そくそふふけり奇いけり心く  
先んあふれいけり秘あのをけ

上句

ろりくそり けりかふれ荒涼  
あけ代あこしつるむんきれりつり  
あふふけてあはれ海あふれ秘が  
あふふあつるまをせよとちよれは  
はりもいげふ屋のきあふるれく  
あふれ事あつるまをせよとちよれ

曲







金そのくらに伐れりみせうくらに  
まのめりまのまのまのまのまの  
けいせいせいせいせいせいせいせい  
ふ国を西りまのまのまのまのまの  
ふり 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
後りひせらるる 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十

花とや 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
花とや 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十  
花とや 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十  
花とや 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十  
花とや 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十  
花とや 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十  
花とや 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十  
花とや 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十  
花とや 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 百





うみり 海そらいさゝか  
いそれきうい ぐらら 入具  
うみきこゑさふく 今れいさ  
うれしうさくららりていらい  
うふひれけせいんみよふえそ  
下と西のあまひくくらんせい

うみり  
いそれきうい

正徳二年己酉

十月十日 終末寺



